



**① 天龍寺** 本尊は千手観音である。住古「正楽寺」という伽藍があり、観音示現の霊場と言われた古刹。寺内の墓地には、国司家歴代墓所や杉氏の墓所がある。



「国司家の墓所」



**⑭ 宗方古墳**  
6世紀ごろの玄室と羨道からなる横穴式石室古墳。現状は縦7m高さ2mで、周囲を削りとられて原形は不明。出土品の一部が船木の郷土資料室にある。



**② 宮尾八幡宮**  
シイを主体にした照葉樹林に囲まれた八幡宮。永年5年(1508年)の日付がある絵入縁起が伝わるほか、境内には県指定有形文化財の木造薬師如来座像が安置してある。



**⑮ 広矛神社(旧若一王子社)**  
祭神は大己貴神、事代主神、建御名方神の三柱。はじめ「若一王子社」と称したが、明治2年現社号となった。



**⑦ 教善寺**  
この山茶花は、樹齢約400年の古木で高さ13mにもなる。杉原守重良の重臣、本田左京大夫良政が重良の死後、出家し、種をまいたといわれる。



**⑫ 今富ダム**  
有帆川の支流、用水の確保と災害防止のために今富川に造られた県営治水ダム。公園には遊歩道や四阿などがあるほか、桜や菖蒲、秋の紅葉など四季を通じて楽しめる憩いの場となっている。



**⑥ 美登里神社**  
(国司家居館跡)  
居館跡の上方に鎮座。祭神は国司信濃親相、神号は「美登里大神」。ご神体は「跡たれて…」の短冊と佩用の短刀であったが、のち信濃公生前に愛用の手鏡にかえられた。



**① 万倉ふれあいセンター** **P**  
万倉地区の地域コミュニティの拠点として、行政・文化の中心的機能を備えた施設。赤間硯の産地にふさわしく硯の展示スペースや硯の原石を使った創作壁画がある。ここを起点に万倉巡りを始めましょう。



**⑮ 楠こもれびの郷**  
農業振興と地域活性化を目的とした拠点施設で、地域間交流施設(温浴施設)、農産物直売所、農家レストラン、農業研修交流施設を備えている。